



広報 みまた

発行・編集 北諸県郡三股町総務課 ☎ 52-1111 発行 3月20日 № 254

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 1 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめましょう。
- 1 教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。
- 1 環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。
- 1 生活を工夫しよりよい風習をつくりましょ。
- 1 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましょ。

三股町の花 サツキ:鳥 ホオジロ:木 イチョウ



「生涯学習」-60?の手習に挑む-

生涯学習が叫ばれる中、町内でも高齢者の学習に挑む姿が多く見受けられるようになりました。

(写真は、老人民謡クラブの皆さん)

平成3年
/ 3月号

第一回生涯学習推進大会

「コンピューターに代表される技術革新の波、人生八十年時代といわれる高齢化社会——今、生涯学習の必要性が叫ばれています。

生涯学習社会の創設に向けて第一歩をふみ出そうと、三月三日、第一回生涯学習推進大会が三股中体育館で開かれました。パネルディスカッションでは、それぞれの立場から貴重な意見や提言が出されました。

作詩家 梶山出身
山田孝雄さんを招く



テーゼ

「いま 生涯学習を考える」

出席者	(敬称略)
コーディネーター	
桑 畑 徳次郎(町教育長)	
パネラー	
福 永 昌 德(町長)	
山 田 孝 雄(作詩家、横浜市在住)	
平 山 典 子(現代工芸家、長田在住)	
平 原 清 孝(都城市社会教育指導員)	
二ノ方 逸 郎(地区公民館連絡協議会長)	

そのためには

明けと長、三朋田の生涯学者の役
シヨンを設定しました。はじめに、
パネラーの方々から生涯学習に対
する考え方、取り組み、今後やり
たいことなどについてお話を伺
いしたいと思います。

町 長 まず三股町の現状を認
識することでしょう。人口は三月
一日現在で二二、
二一六人、県内で
は清武町に次いで
二番目に高い人口
増加率を示してい
ます。人口も增加
はメリットもあれ
ばデメリットもあ
るが、私としてはメリットとして

山田 孝雄さん

町民がこそって町づくりに参加することが大切。生涯学習を通して集落づくり、地域づくり、人づくりをしないでいかなければなりません。特定の人がやるのではなく、町民みんなでやることです。

飛んでも花が咲きません。文化といつても、堅苦しく考えないで、ゲートボールとか、カラオケとか、何でもいいから趣味を持てばいいんです。それが文化への入口でもあるわけです。

生涯学習についても余り難しく考えないで、趣味など自分でできることから始めたらしいと思います。私も近々、絵を始めようかと思っています。

平山 私は三十代の時、入院をして、このままでは死にたくなれない、何かをしなければと思いつつ、花の世界に入りました。この仕事でとても手が届きそうにないと思つていたんですが、他人にでき

はない」と、前向きに考へるようになります。まず、やつてみると、挑戦する意欲が大切ですね。

それから、東京に住んでいた孫が三股で遊びに来ると、自然の中にあるものを見て、「あれなに?」これ何ていうの?」とよく質問するんです。生涯学習は生まれた時、いや生まれる前から始まっていると思いますよ。

く生きるかということです。生涯学習の基本的なねらいは、自分を育てる、自分で学びながら徳性を高めることで、豊かな地域づくり・町づくりに貢献することです。住民こそって、自分の好きなものに自ら進んで取り組むことが大切です。そのためには学ぶ場所があることなど、いくつかの条件が必要ですが、結局は、三股町が運営する「民憲章」を具体化することです。

性化に積極的に取り組んでいます
が、一昨年、棒踊りを復活させた
のもその一環です。このほか、青
少年の健全育成のために講演会を
開いたり、生活改善グループの育
成、交通安全など地区ぐるみで取
り組んでいます。
また、婦人会が健康教室や舞踊
教室を開いたり、カラオケ同好会が毎週一回開かれるなど、自主的
な活動も多くあります。押しつけ
では決して長続きはしません。
生涯学習の中核として、公民館
がどんな役割を担つていけばよい
のか、今、真剣に考えなければな
らないと思っています。

教育長　ここで、
参画者の方々の「
意見、ご質問をお
受けしたいと思
います。

桑畑教育長
されてゐるが、そ
の他の施設はそ
の性格上なかなか
開放しにくい面が
あります。これか
らは、教師と地域
との交流をどう深

堀内さん(蓼池) 農業をしていましたが、野草の会で仲間と一緒に経験を生かし、野草の会で山歩きをと楽しくやっています。山歩きをしたり、野草の種子を育てて配布したり、また機関誌を発行して、その経験を紹介しています。現在三百種の植物を育てていますが、三百種の植物を育てていますが、

一学び方を学ぶ—私は東京で学びました。都城弁で「んーにゃ」といううちはだめ。なかなか出世はできません。「そうかも知れん」と、人の言い分を受け入れることが大切です。正しいことは余り声でいわないこと、正しいことはいつも口に出さないでください。

うことを実践しています。「学びの力」を育むと、方を学ぶ」これが生涯学習につながるのです……。

の知識や技術をどのようにして有効に使うかが課題。子供は地域で生活しているんだから、教師のみなさんは大いに地域に出向いて行って欲しい。

山　すばらしい生き方をされていますね。心に余裕がある証拠だと思いますよ。三百種類の植物堀内さんにとっては三百人の友達がいるとの同じなんですね。

次のページに続きます

「昭和枯れすすき」「女の出船」など
数々のヒット曲を作詞



*山田さんの代表作

生涯学習推進大会
はバネルディスカッショニンの後、午後から講演会に移り、郷土出身の作詩家、山田孝雄さん（44歳、横浜市在住）が九十分間にわたりて講演を行いました。

・昭和枯れすすき（さくらと一部）・さらばハイセイコー（増沢末男）・思い切り橋（内山田洋とクールファイブ）・故郷ごころ（森昌子）・ごめんよ、北情歌（山本謙二）・好きやねん大阪（浪花こゆき）

○古賀記念大賞・酒場すずめ（村上幸子）

・北海岸（原田悠里）

○日本作詞大賞・漁歌（北島三郎）

・酒場すずめ（村上幸子）

○日本レコード大賞新人賞・女の出船（松原のぶえ）

演題

山田孝雄さんが講演

「流行歌だよ 人生は」

事としても活躍中。
この日の講演は、「流行歌だよ、人生は」と題して、せんだんの木の枝を折つたり、新任教師をからかつて怒られたことなど中学生時代の想い出や、デビュー作「昭和枯れすすき」を作詞したときのタイプがいるが、最後は亀がうさぎを追い越す。逆転の発想が大ソードをまじえながら「人生は、あせつたり、悪がきしてはいけない。人間にはうさぎと亀の二つのタイプがいるが、最後は亀がうさぎを追い越す。逆転の発想が大切」と人生訓を語り、聴衆は深く感銘を受けていました。

卒業直前の春休みに、親が行ったこともない海外へ、旅行に行く大学生が少なくありません。「親のすね今をさかりとかじるなり」という古川柳が思い合われます。

親の「すねかじり」は、自活する能力のない子供が、もっぱら親に経済的援助をもらう「親のすね今をさかりとかじるなり」という言葉です。

脛は膝から足首まで、ここを負傷すると歩くことができなくな

る部分。脛の前面は「向こう脛」、

後ろの中央部は、「ふくらはぎ」と呼ばれます。ふくらはぎと呼ばれます。ふくらはぎと肉付きのいい所で、一番かじりがいがあるといえるでしょう。

「子宝脛が細る」は、親にとって宝というべき子供も、育てるのに苦労せられることをいつものことです。また、同じ脛でも、かじられるのではなく、傷をつけられる、まったく別な意味になります。

「脛に傷を持つ身」といえば、後ろ暗い過去の悪事を隠しているやましい身の上のことです。

脛に傷を持つよりも、子供に脛をかじられるほうが、まだましといえるかもしれません。



高木さん（長田）
①生涯学習の環境づくりについてお伺いしたい。②平山さんは全国規模を持ちながら三股に来られた。現実は大変だろと思いますが…。③公民館の役割は大きいが、難しい点についてお聞かせください。

平原清孝さん
平山 東京で仕事をしている時は、テレビや新聞にも多く出ましたが、電話は一本もかかっていません。もちろんは喜ぶべきことなんでしょうが、それとも悲しむべきことなのでしょうか。二ノ方 人集めが大変です。婦人会等は役員だけの会合に終わる自治公民館には講師を派遣して

俗に、九州では「ヤカンたぎい」といいますが、これは熱しやすく冷めやすいことのとて。これ比べ、東北の人は本当にねばり強い、失敗しても挑戦していくんです。「ヤカンたぎい」では文化が止まってしまうような気がしますね。

田中さん（宮村小） 今日は、この大会に参加している人は生涯学習の意義が理解できる方々だと思います。でも、ここにない人たちはどうするのでしょうか。町民一人ひとりにどう意欲をもたらせるかが、といいますが、これは熱しやすく冷めやすいことのとて。これほどその折、中学生の集団万引き事件が発生した訳です。当時の田長さんが、これは村が貧乏だからひとりにどう意欲をもたらせるかが一番の問題です。どんなふうに働きかけていけばいいのでしょうか。町長 友達をつくることです。身近な人と語る、集まることです。この積み重ねがあつて、生涯学習が生まれます。

四国の香川県に五郷村という村があります。この村は昔、香川県

田中さん（宮村小） 今日は、この大会に参加している人は生涯学習の意義が理解できる方々だと思います。でも、ここにない人たちの村になりました。もちろん、万引きも発生しなくなつた訳です。三股町でも、地域づくりのモデル地区を指定したいと思っています。その結果、県で一番の金持ちの村になりました。もちろん、それを作り、村づくりに取り組んだぞらば、何とかなければいけないと思います。

二ノ方 第四地区では、三十八

事 大きな村になりました。もちろん、

年振りに梶山棒踊りを復活させました。四十年代、五十年代の人が多くたが、昨年、二十代の人が四名加入してくれました。活性化にはどう

うしても若い人のパワーが必要です。

二ノ方 第四地区では、三十八

事 ことが多いようです。郷土芸能の練習にしても、毎週水曜日に実施していますが、仕事などの関係でみんなが一緒にできないのが悩みの種です。

＊＊＊＊＊

山田 昨日は大変い勉強にななりました。テレビなど情報が発達しているからでしょうか、横浜も三股も物の考え方方に隔たりはある

教育長 ここにおられる方々は、生涯学習の実践者です。みなさん

がいつでもやつてみようと努力し

て欲しい。私たちも最大の力を入

れていただきたいと思っていま

す。

教育長 ここにおられる方々は、

年振りに梶山棒踊りを復活させま

した。四十年代、五十年代の人多か

ったが、昨年、二十代の人が四名加

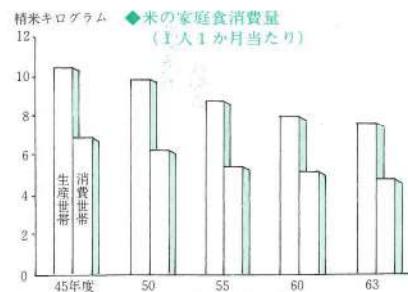
入してくれました。活性化にはど

うしても若い人のパワーが必要で

す。

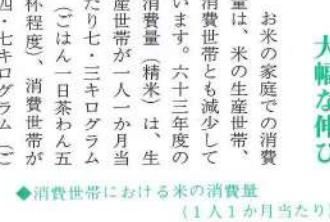


二ノ方選郎さん



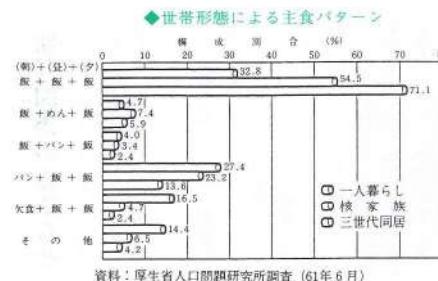
資料：食糧庁「米穀の消費動態調査」、
「生産者の米穀現在高等調査」

お米の家庭での消費量は、米の生産世帯とも減少しています。六十三年度の消費量（精米）は、生産世帯が一人一ヶ月当たり七・三キログラム、消費世帯が四・七キログラムでござん一日茶わん三杯強程度となっています。

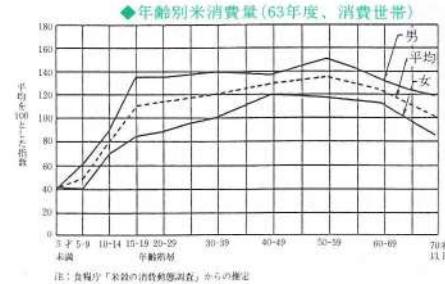


資料：食糧庁「米穀の消費動態調査」

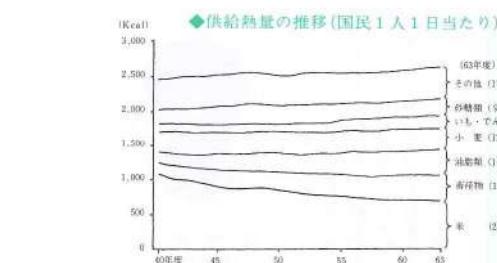
消費世帯の家庭食、外食別の消費量についてみると、こ二十年間に家庭食は十六%程度減少（五・六→四・七キログラム）しているのに對し、外食は四七→一・〇キログラムと大幅に増加しています。



なっています。また、平均的にみても、女性の場合は、男性に比べ二割程度低い水準となっています。なお、両親と一緒に食事をする子供は、そうでない場合に比べ食が進み、三世帯同居の家庭では、三食とも、こんなを主食とする割合が高くなっています。



外食消費量は大幅な伸び



米の需要見通し

	62年度	12年度
総需要量 (万トン)	1,065	950~1,010 (980~1,040)
1人当たり純食料 (kg)	71.9	59~62

資料：「農産物の需要と生産の長期見通し」(平成2年1月19日閣議決定)

注：平成12年度総需要量の下段（）内は、特に低廉な加工用米の供給等により需要の拡大が図られた場合である。

米は、わが国の長い歴史のなかで日本型食生活ともいえる日本人の食文化を築きあげてきました。しかし、所得水準の向上とともに食生活の多様化などに伴い、30年代後半以降、米の消費量は減少を

十年後の米消費量は五十九・六十二キログラム程度

続け、六十三年度の国民一人当たりの消費量は七十一・〇キログラムと、ピーク時（三十七年度）の約六割まで減っています。それでも、熱量ベースでみると、米による供給熱量が二十六%を占めており、依然として重要な地位にあります。

今後の米の消費量は、「農産物の需要と生産の長期見通し」において、平成12年度には国民一人一年当たり五十九・六十二キログラム程度と、現在より約十キログラム減少する見込まれています。

ごはんを一番食べるるのは誰？

お米の消費量について年齢別にみると、男性と女性では異なるパターンを示しています。六十三年度では、男性は、十代後半から五十年代まで、ほぼ同じくらい食べているのに對し、女性では、十代後半や二十代など若い世代で、同じ世代の男性の六割程度とはるかに低い水準に

- 農村婦人と一般消費者婦人との対話集会の開催
- 料理に関する専門家・医師等による「お米サミット」等の開催
- 各種イベント等への協賛及び稲作体験学習等

お米料理サミット宣言

1. 21世紀へ向けた国民の健康づくりを、お米を中心とした日本型食生活を維持することにより実現しよう。
 2. お米料理を楽しんで、真にゆとりのある心豊かな生活を営こう。
 3. お米料理を通じて、家族の心のふれあう場をつくるう。
 4. 食文化はその民族の基本的な文化である。世界に誇れる日本米食文化を伝承し、次世代を担う子供たちにも根づかせよう。
 5. お米料理を中心とした楽しく豊かな食生活習慣を、次世代を担う子供たちにも根づかせよう。
4. 食文化はその民族の基本的な文化である。世界に誇れる日本米食文化を伝承し、次世代を担う子供たちにも根づかせよう。
5. お米料理を中心とした楽しく豊かな食生活習慣を、次世代を担う子供たちにも根づかせよう。
- （平成元年12月2日）

食生活に占める米の地位

